

No	施策名	事務事業の目的	H29決算額(円)	事務事業評価		事務事業の現状・課題	平成30年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	令和元年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)
	事務事業コード		内 直接事業費	1 担当部課名				
	事務事業名		H30決算額(円)	事務事業評価				
			内 人件費	2 評価責任者氏名				
			内 直接事業費	3 妥当性評価				
			内 人件費	4 有効性評価				
			内 人件費	5 効率性評価				
			1	消防・救急体制の充実				
60101010	6,458,073	1		消防本部 消防課				
本署管理事務(60102060)	8,208,976	2		浪崎 智彰				
	<b>18,319,951</b>	3		高い				
	6,862,567	4		高い				
		11,457,384	5	高い				
						改善の効果	高い	
2	消防・救急体制の充実	火災、救急等における迅速な出動体制の維持、災害時における消防活動の拠点としての機能確保をするため、赤羽根分署の施設設備等の維持管理を行う。	<b>13,467,380</b>	事務事業評価		施設設備等の老朽化、また塩害によって不具合箇所が発生している。このことから点検を随時行い、不良・欠陥箇所の修繕等を早期に行う必要がある。	電気設備等の点検委託により維持管理を図っている。建物の漏水修繕を行い、適正な施設利用を行うことが出来た。	施設設備等の点検・修繕を継続して行う。また、屋根や外壁にひび割れ等の腐食があるため、庁舎全体の修繕により改善を図る必要がある。
	60101020		3,178,536	1	消防本部 消防課			
	赤羽根分署管理事務		10,288,844	2	浪崎 智彰			
			<b>12,220,227</b>	3	高い			
			3,141,156	4	高い			
		9,079,071	5	高い				
						改善の効果	高い	
3	消防・救急体制の充実	火災、救急等における迅速な出動体制の維持、災害時における消防活動の拠点としての機能確保をするため、渥美分署の施設設備等の維持管理を行う。	<b>9,841,939</b>	事務事業評価		建物自体が築47年経過し老朽化が進んでいるため、施設設備等の点検及び整備を行い維持管理を行う。また、不良・欠陥箇所については迅速に対処する必要がある。	建物の漏水、空調等の修繕を行い、危険箇所改修や職場環境の改善を行った結果、適正な施設利用を行うことが出来た。	施設利用の安全を図るため、不良箇所の早期発見、改修及び継続した施設点検を実施する。
	60101030		4,083,909	1	消防本部 消防課			
	渥美分署管理事務		5,758,030	2	浪崎 智彰			
			<b>13,011,214</b>	3	高い			
			4,695,801	4	高い			
		8,315,413	5	高い				
						改善の効果	高い	
4	消防・救急体制の充実	・消防、救助活動業務の円滑な運営を図る。 ・火災等の災害から市民の生命、身体及び財産を保護するため、迅速かつ安全・的確な活動を実施する。	<b>353,257,818</b>	事務事業評価		・ベテラン職員の退職に伴う消防力の低下を抑えるため、若手職員の育成に努める。 ・訓練計画を綿密に立て、より実践的な訓練に取り組んでいく。 ・消防活動用資器材の老朽化に伴う更新や適正な維持管理を行う必要がある。	・各種訓練を実施し、消防活動技術の向上を図った。 ・資器材の整備や修繕を行い、維持管理に努めた。 ・大規模災害に備え、近隣消防本部との合同訓練を実施した。	・様々な事故や災害等に対応するため、各種訓練を実施(継続)し、更なる消防活動技術の習得に努める。 ・消防活動用資器材の老朽化に伴う機能低下や事故防止を図るため、更新計画を作成し適正な維持管理に努める。
	60101060		8,337,259	1	消防本部 消防課			
	消防活動事業		344,920,559	2	浪崎 智彰			
			<b>346,663,441</b>	3	極めて高い			
			8,987,087	4	極めて高い			
		337,676,354	5	高い				
						改善の効果	極めて高い	
5	消防・救急体制の充実	東三河共同受信において迅速かつ的確な出動指令を行い、通信室において火災時の同報無線、災害時の無線統制、緊急通報システム受信及び各種連絡を行い各種災害による被害の軽減を図る。	<b>92,705,692</b>	事務事業評価		・東三河消防指令センター及び東三河各消防本部と連絡を取り合い、円滑な通信業務を実施している。 ・共同受信開始から7年を経過しており、老朽化した設備を維持管理していくため、修繕又は更新する必要がある。	指令システムの世帯主及び目標物データ更新を随時行うとともに、デジタル簡易無線機配備の充足、車両AVMモニタの修繕を行い、通信設備の維持管理を図ることが出来た。	・緊急消防通信指令システムの更新計画に基づき、東三河消防指令センター及び東三河各消防本部と緊密な連絡体制を構築する。 ・指令システム機器及び消防デジタル無線の老朽化に伴う出動指令の遅延や通信障害の防止を図るため、更新計画を作成し適正な維持管理に努める。
	60101070		20,550,505	1	消防本部 消防課			
	通信指令事務		72,155,187	2	浪崎 智彰			
			<b>97,094,668</b>	3	極めて高い			
			21,821,561	4	極めて高い			
		75,273,107	5	高い				
						改善の効果	極めて高い	
6	消防・救急体制の充実	水火災等の災害時に安全・迅速な消防団活動を行うため、装備・資器材の充実、被服等の貸与及び消防団車両の維持管理を実施し、地域防災力の充実強化に努める。	<b>142,810,655</b>	事務事業評価		消防団が、各種災害において、その機能を十分に発揮できるように消防団活動の円滑な推進を図っている。課題として消防団員の確保が厳しい現状であるが、市民の安心・安全を確保するには、地域に密着した消防団員の確保は必要不可欠である。	・消防団員が安全に活動できるよう、被服、資器材など、安全装備品を貸与した。 ・女性消防団員全員に応急手当普及員の資格を取得させることが出来た。また、取得後は、分団員に対し、普通救命講習を指導することが出来た。	・消防団の装備の基準を踏まえて、安全確保対策、救助用器具、情報通信機器等の装備を更に充実強化し、安全な活動環境づくりを目指す。 ・前年度から継続して、女性消防団員の活動を支援し、更なる活躍を推進するとともに、消防団のイメージアップに繋げ消防団員の確保へと波及させる。
	60101080		121,856,912	1	消防本部 消防課			
	消防団活動事業		20,953,743	2	浪崎 智彰			
			<b>142,424,274</b>	3	極めて高い			
			124,183,253	4	高い			
		18,241,021	5	高い				
						改善の効果	高い	
7	消防・救急体制の充実	災害時の消防団活動を円滑にするため、消防団の活動拠点である詰所車庫の維持管理を実施する。	<b>5,610,849</b>	事務事業評価		市内22か所の詰所車庫を各分団からの修繕依頼に基づき、施設を調査し修繕を実施している。また、経費削減に努めながら消防団施設の維持管理を図る必要がある。	東部分団2号車、神戸分団2・3号車、野田分団2号車、董浦分団、赤羽根分団3号車詰所車庫の修繕を実施した。	劣化度調査を実施し、必要により修繕等を行う。施設の長寿命化を図るとともに、地域の活動拠点としての機能を維持していく。
	60101090		3,385,865	1	消防本部 消防課			
	消防団施設管理事業		2,224,984	2	浪崎 智彰			
			<b>8,438,792</b>	3	極めて高い			
			6,287,199	4	高い			
		2,151,593	5	高い				
						改善の効果	高い	

No	施策名	事務事業の目的	H29決算額(円)	事務事業評価					事務事業の現状・課題	平成30年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	令和元年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)
	事務事業コード		内 直接事業費	1	担当部課名						
	事務事業名		H30決算額(円)	2	評価責任者氏名	3	妥当性評価				
			内 直接事業費	4	有効性評価	5	効率性評価				
8	消防・救急体制の充実	火災予防啓発活動を積極的に実施し、市民の防火意識の向上を図るとともに火災を早期に発見し、火災による死傷者及び被害の軽減を図る。	<b>30,121,602</b>	事務事業評価					防火対象物へ定期的な立入検査を行い、早期に違反是正を実施する。	田原市火災予防査察規程の制定及び田原市消防法等違反処理に関する規程の全部改正に伴い、重大違反の特定防火対象物に対し、迅速な違反処理を実施した。 令和元年10月1日から施行される消火器に関する法改正に伴い、飲食店等に対して事前説明を実施した。	防火対象物への計画的かつ継続的な立入検査を行い、令和2年4月1日から施行される公表制度に向けて、公表される違反対象物が無くなるように指導を徹底する。 防火管理者未選任違反対象物の減少を目的として、防火管理講習を定期的に開催する。
	60101100		782,320	1	消防本部 消防課	2	浪崎 智彰				
	火災予防推進事業		29,339,282	3	高い	4	極めて高い				
			<b>23,961,544</b>	5	高い						
			791,923								
		23,169,621						改善の効果	高い		
9	消防・救急体制の充実	法令に基づき危険物製造所等の許可、認可及び立入検査等を行い、危険物が適正な施設や手続きに沿って取り扱われるよう指導し、危険物に関連する事故等の発生を防ぐことにより市民の安全を確保する。 煙火消費許可及び立入検査等を行い、煙火消費が適正に行われるよう指導する。	<b>17,602,985</b>	事務事業評価					危険物製造所等の許可、認可及び施設への立入検査を行うことで安全操業の推進を行う。 煙火消費許可及び立入検査等の実施により安全な消費を指導する。	全危険物施設に立入検査を行い、安全操業のため適宜指導を行った。 田原市主催で煙火消費者保安講習会を開催した。	危険物施設自体は、全国的に減る傾向にあるが、既存の施設は老朽化が進んでいる現状から、事故防止のため適正な維持管理の指導を行う。 液化石油ガス設備工事の届出受理等の事務について、県から移譲を受け、令和2年度から開始する。
	60101110		2,216,794	1	消防本部 消防課	2	浪崎 智彰				
	危険物災害防止事業		15,386,191	3	高い	4	極めて高い				
			<b>16,548,321</b>	5	高い						
			269,883								
		16,278,438						改善の効果	高い		
10	消防・救急体制の充実	災害から市民の生命、身体及び財産を保護するため、消防車両及び車両装備品の維持管理を行う。 緊急出動の対応が円滑に機能できるように整備を行う。	<b>24,328,633</b>	事務事業評価					緊急車両として、安全に使用できるよう万全な車両整備が必要である。今後も法定点検や自主点検を実施し、徹底した維持管理を行う必要がある。	法定点検や自主点検を徹底するとともに、交換が必要な部品を適切に交換し、緊急車両としての維持管理を行った。 予算削減のため特殊塗装のメンテナンス方法をメーカーを招いて講習会を開催し、次年度から自主メンテナンスを行えるようにした。	車両及び装備資機材等の法定点検及び自主点検を徹底し、故障が発見された場合は修繕を行い、緊急車両として維持管理を行う。
	60101120		8,671,448	1	消防本部 消防課	2	浪崎 智彰				
	消防車両等維持管理事務		15,657,185	3	極めて高い	4	高い				
			<b>24,236,426</b>	5	高い						
			8,083,584								
		16,152,842						改善の効果	高い		
11	消防・救急体制の充実	防火水槽を改修し、有蓋化を図る。 火災による被害を最小限に抑えるため、消防水利として防火水槽の整備推進を図る。	<b>21,915,412</b>	事務事業評価					消防力のひとつである防火水槽の整備は、市町村の責務であり、耐震性を有する二次製品を選択し、老朽化した防火水槽を取壊すとともに市有地への設置を推進する。	老朽化した防火水槽を耐震補強するための調査を実施した。(有蓋60㎡ 1基)	地震災害等による火災に対応するため、耐震性防火水槽を整備し耐震化率の向上を図り、市民生活の安心安全を確保するとともに、老朽化した防火水槽を順次更新及び耐震補強工事を実施していく。
	60102010		15,421,320	1	消防本部 消防課	2	浪崎 智彰				
	防火水槽整備事業(60102014.60102015)		6,494,092	3	極めて高い	4	極めて高い				
			<b>8,909,126</b>	5	高い						
			1,234,440								
		7,674,686						改善の効果	高い		
12	消防・救急体制の充実	火災時の迅速な消火活動に備え、既設防火水槽の補修を行い有効水利を確保する。 無蓋防火水槽の防護金網を取替え、安全確保に努める。	<b>13,230,312</b>	事務事業評価					消防水利を常時使用できるよう巡視点検を充実させるとともに、安全上の維持管理や環境改善、標識等の管理の徹底を図っている。	水利標識、安全対策用フェンス等を設置するとともに、老朽化した防火水槽を6基取壊し、1基改修した。	有事の際に円滑な消防業務が行えるように消防水利の維持管理を行い、市民の日常生活の安心に寄与するため、老朽化した消防水利の取壊しや修繕に取り組む。
	60102020		8,466,792	1	消防本部 消防課	2	浪崎 智彰				
	消防水利維持管理事務		4,763,520	3	極めて高い	4	極めて高い				
			<b>15,673,959</b>	5	高い						
			9,823,514								
		5,850,445						改善の効果	高い		
13	消防・救急体制の充実	消防水利として消火栓の適正な配置を考慮し整備を図る。 火災時に消火栓が適切に使用できるよう、維持管理・補修を実施する。	<b>21,197,447</b>	事務事業評価					水道事業と連携し、耐震性のある水道管を有効利用し、新設・改良を行っている。また、未充足地域への消防水利の整備を効率良く実施することが重要である。	水道事業と協議し、3基の既設改良を行い、消防水利の基準に基づいた適正配置となるように事業を実施した。	消防水利の整備拡充が今後も課題となるため、効果的に消防水利を配置するとともに、新たな開発行為等における設置や、耐震性を有する配管への設置要望を行い、消防水利の充実を図っていく。
	60102030		17,221,464	1	消防本部 消防課	2	浪崎 智彰				
	消火栓設置・維持管理事務		3,975,983	3	高い	4	高い				
			<b>23,061,314</b>	5	高い						
			17,371,476								
		5,689,838						改善の効果	高い		
14	消防・救急体制の充実	各種災害等に対応するため、老朽化し機能低下した消防車両の更新整備を図る。 最新の資機材を整備し、迅速、安全な現場活動を行う。	<b>74,468,675</b>	事務事業評価					消防車両の安全な運行を確保し、災害時の円滑な消防活動を維持するため、車両の耐用年数、老朽化の程度等を考慮し計画的に更新する。	更新計画に基づき、老朽化した赤羽根分署の水槽付消防ポンプ自動車を更新するとともに、緊急消防援助隊設備整備費補助金を活用し、費用の削減をすることが出来た。	車両の使用状況、老朽化び地域特性等を考慮し、田原市消防車両検討委員会において検討を行い、効果的かつ迅速な活動ができる車両の整備に努める。
	60102040		70,737,799	1	消防本部 消防課	2	浪崎 智彰				
	消防車両整備事業		3,730,876	3	極めて高い	4	高い				
			<b>63,381,851</b>	5	高い						
			58,061,350								
		5,320,501						改善の効果	高い		

No	施策名	事務事業の目的	H29決算額(円)	事務事業評価					事務事業の現状・課題	平成30年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	令和元年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)
	事務事業コード		内 直接事業費	1	担当部課名						
	事務事業名		H30決算額(円)	2	評価責任者氏名	事務事業評価					
			内 直接事業費	3	妥当性評価						4
			内 人件費	5	効率性評価						
15	消防・救急体制の充実	地域住民の安全・安心を確保するため、機能低下した消防団車両を更新し消防力の向上を図り、火災等の各種災害による被害を軽減する。	11,277,046	事務事業評価					消防団車両の安全な運行を確保し、災害時の円滑な消防団活動を維持するため、車両の耐用年数、老朽化の程度等を考慮し計画的に更新を図っている。	更新年数を経過し老朽化した小型動力ポンプ付積載車1台(赤羽根分団3号車)を更新した。 団員の負担軽減及び安全操作のため、更新車両のミッションをオートマチックにしている。	更新に際しては、新免許制度への対応を考慮し、地域の特性に合わせた車両機装をするとともに、車両積載器材についても震災時に活用できる資器材の導入に配慮する必要がある。また、消防団活動に欠くことのできない車両は、整備する必要性が高いため計画的に更新していく。
	60102050		9,179,178	1	消防本部 消防課						
			2,097,868	2	浪崎 智彰						
	消防団車両整備事業		12,333,469	3	極めて高い						
			9,179,229	4	極めて高い						
		3,154,240	5	高い			改善の効果	極めて高い			
16	消防・救急体制の充実	火災・救急等における迅速な出動体制の維持、災害時における消防活動の拠点としての機能を確保するため、本署の整備を行う。		事務事業評価					適宜、点検・清掃等を実施し必要箇所は修繕しているが、竣工から31年経過しているため施設設備等の老朽化や不良箇所については、早期に改修等を行う。	9月補正で研修ホールエアコンの改修工事を予定していたが、年度内実施が困難となり、設計業務のみ実施した。	・繰越となった研修ホールエアコンの改修工事を実施する。 ・老朽化や不良箇所については順次改修していく。 また、耐用年数及び劣化度を調査し、必要であれば、修理・更新等により、施設の長寿命化を図っていく。
	60102060			1	消防本部 消防課						
				2	浪崎 智彰						
	本署整備事業		600,525	3	極めて高い						
			499,500	4	極めて高い						
		101,025	5	極めて高い			改善の効果	普通			
17	消防・救急体制の充実	地域における消防防災活動の中心的な役割を担う消防団員の活動拠点として、詰所車庫を整備し、活動体制や機能の充実を図る。	46,179,608	事務事業評価					津波浸水想定区域内の詰所車庫を早急に移転することが喫緊の課題となっている。また、詰所車庫の調査を継続して行い、老朽化した施設を対象に計画的に建替えを行っている。	伊良湖岬分団2号車の詰所車庫を津波浸水想定区域外へ建設し、大規模災害時においても最大限に機能する拠点施設とした。 ・老朽化した福江分団2号車の詰所車庫を建設し、拠点施設としての機能を充実させた。	老朽化し、かつ手狭な詰所車庫を順次更新していく。 また、耐用年数及び劣化度を調査し、必要であれば、修理・更新等により、施設の長寿命化を図っていく。
	60102090		39,884,062	1	消防本部 消防課						
			6,295,546	2	浪崎 智彰						
	消防団施設整備事業		84,477,140	3	極めて高い						
			76,041,548	4	極めて高い						
		8,435,592	5	極めて高い			改善の効果	極めて高い			
18	消防・救急体制の充実	東三河5市で共同運用している消防緊急通信指令施設の部分更新に伴い、システムの機能向上と機器の整備を行う。	79,198,690	事務事業評価					指令システムの維持管理を目的とした部分更新は、東三河消防指令センター及び東三河各消防本部との協議が円滑に行えたため計画どおり進めた。 ・消防緊急通信指令施設及び消防救急デジタル無線設備の全更新に向け、東三河5市で取り組む。	部分更新により、出動指令や東三河消防指令センターから送られる各種データを効率よく受信出来るようになった。	部分更新された機器を東三河5市で適切に維持管理し、必要があれば新システムの導入や機器の整備を行う。 ・消防緊急通信指令施設及び消防救急デジタル無線設備の全更新を東三河5市で協議し、適切な時期に実施する。
	60102100		57,963,600	1	消防本部 消防課						
			21,235,090	2	浪崎 智彰						
	消防通信施設整備事業		11,880,696	3	極めて高い						
			11,476,596	4	高い						
		404,100	5	高い			改善の効果	高い			
19	消防・救急体制の充実	救急救命士等を計画的に養成し、気管挿管及び薬剤投与認定救命士も順次養成する。また、心肺停止前の静脈路確保及び輸液、血糖測定並びに低血糖症例へのブドウ糖溶液の投与ができる救命士も養成する。	40,955,800	事務事業評価					救急救命士の高齢化、管理職への登用等により運用救急救命士の確保が困難になってくるため、毎年1人以上の養成が必要である。また、救命士業務の高度化に対応するため薬剤投与認定救命士、処置範囲拡大認定救命士の養成も急務となっている。	救急救命九州研修所の指導救命士養成研修に1人派遣した。 指導救命士1人、気管挿管救命士1人、薬剤投与救命士2人及び処置範囲拡大救命士1人の養成を行った。	救急業務の高度化に対応するため、継続して薬剤投与認定救命士、処置範囲拡大救命士及び気管挿管救命士の養成をするとともに、救急隊員の資格取得にも努める。また、救急救命士の高齢化、管理職への登用等により運用救急救命士の確保が困難になってくるため、計画的に救急救命士を養成していく。
	60103010		4,690,060	1	消防本部 消防課						
			36,265,740	2	浪崎 智彰						
	救急救命士等養成教育事業		28,424,167	3	極めて高い						
			2,223,390	4	極めて高い						
		26,200,777	5	高い			改善の効果	極めて高い			
20	消防・救急体制の充実	救急活動に関する業務の円滑な運営を行う。 ・災害から市民の生命、身体を迅速、安全、的確な活動により保護する。	295,413,999	事務事業評価					救命率の向上と容態悪化を防ぐため、質の高いチームトレーニングを実施し、必要な処置を実施後、速やかに医療機関に搬送できるように日々訓練を実施している。	様々な出動事案に対する検証及び現場活動を想定したチームトレーニングを行うことにより、現場滞在時間短縮を意識した活動が行えるようになった。	多様な救急事案及び高度化する救急業務に対応するため、隊員の育成及び資器材の充実を図る。 ・救命率向上を図るため、コンビニエンスストアへのAED設置を継続する。 ・救急車の適正利用について広報等を行う。
	60103020		11,601,376	1	消防本部 消防課						
			283,812,623	2	浪崎 智彰						
	救急活動事業		281,430,061	3	極めて高い						
			10,488,005	4	極めて高い						
		250,942,056	5	高い			改善の効果	高い			
21	消防・救急体制の充実	各種災害事案に対応するため、機能低下した高規格救急自動車の更新整備を図る。 ・救命率向上に向けた高度救命資器材の整備を図る。		事務事業評価					救急車両の安全な運行を確保し、災害時の円滑な救急活動を維持するため、車両の耐用年数、老朽程度等を考慮し計画的に更新する。	更新計画に基づき、老朽化した湿美分署の高規格救急自動車を更新するとともに、緊急消防援助隊設備整備費補助金を活用し、費用の削減をすることが出来た。	救急車両の仕様を統一し、他署の隊員でも円滑な活動ができる様にする。 ・心肺蘇生法のガイドラインの変更に伴い、対応可能な資器材を整備する。
	60103030			1	消防本部 消防課						
				2	浪崎 智彰						
	救急車両整備事業		34,942,085	3	極めて高い						
			30,966,956	4	高い						
		3,975,129	5	高い			改善の効果	高い			

No	施策名	事務事業の目的	H29決算額(円)	事務事業評価		事務事業の現状・課題	平成30年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	令和元年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)
	事務事業コード		内 直接事業費	1 担当部課名				
	事務事業名		H30決算額(円)	事務事業評価				
			内 直接事業費	1 担当部課名				
			内 人件費	2 評価責任者氏名				
			内 直接事業費	3 妥当性評価				
			内 人件費	4 有効性評価				
				5 効率性評価				
22	消防・救急体制の充実	救命講習(AED講習を含む)を実施し、市民等への応急手当の普及啓発に努め救命率を高める。	<b>20,212,726</b>	事務事業評価		救命率向上には救急隊到着前のバイスタンダーによる応急手当が重要であり、地域・企業等へのAED設置の普及啓発、救命講習の受講者数を増やしていく必要がある。	普通救命講習などの救命講習を4,958人に実施した。	救命講習受講者数の増加に向け、受講しやすい環境及び講習体制を構築する。 各イベント等を利用して講習会を開催するなど受講機会を増加する。
	60103040		938,457	1	消防本部 消防課			
			19,274,269	2	浪崎 智彰			
	救命講習推進事業		<b>18,094,620</b>	3	極めて高い			
			894,857	4	極めて高い			
		17,199,763	5	高い			改善の効果	高い
23	消防・救急体制の充実	災害から市民の生命及び身体を保護するため、救急車両及び装備品の維持管理を行う。 緊急出動の対応が円滑に機能できるように整備を行う。	<b>14,505,570</b>	事務事業評価		緊急車両として安全に使用できるように万全な車両整備が必要である。今後も法定点検や自主点検を実施し、徹底した維持管理を行う必要がある。	車両及び装備機器の法定点検及び自主点検を徹底し、故障箇所の修繕を行い緊急車両として維持管理を行った。	車両及び装備機器の法定点検及び自主点検の徹底を継続し、緊急車両として維持管理を行う。
	60103050		2,482,753	1	消防本部 消防課			
	救急車両等維持管理事務(60103030)		12,022,817	2	浪崎 智彰			
			<b>13,499,337</b>	3	極めて高い			
			2,828,292	4	高い			
		10,671,045	5	高い			改善の効果	高い
24	防災・減災体制の充実	地震・津波、風水害等の自然災害からの被害を最小限に抑えるため、自治会等を中心に自主的に組織された自主防災会の活動の推進・支援及び防災資機材等の整備に対して支援を行う。	<b>19,964,289</b>	事務事業評価		奨励金、補助金により自主防災活動の支援を実施。 推進地区活動支援を、毎年2地区で実施し、更なる地域防災力向上に向け、継続して実施する必要がある。	六連、清田地区で実施。地域防災力の向上と、地域住民の意識高揚を図ることができた。	推進地区活動支援は財政的支援も含め更なる地域防災力の向上に向け事業を継続して実施していく。
	60201010		11,862,701	1	防災局 防災対策課			
	自主防災活動推進等支援事業(60201010,60201020)		8,101,588	2	三竹 雅雄			
			<b>22,805,477</b>	3	極めて高い			
			14,837,845	4	高い			
		7,967,632	5	高い			改善の効果	高い
25	防災・減災体制の充実	各種訓練の実施、講習会・講演会等の開催を通して、市民へ地震や津波、その他自然災害への防災・減災意識の高揚を図る。	<b>18,558,680</b>	事務事業評価		防災訓練、防災カレッジ、ほーもん講座等の講習会、子ども防災教室の開催等を実施。東日本大震災から月日が経ったこともあり、更なる意識高揚を図る必要がある。	総合防災訓練は台風接近により中止。最新情報を取り入れた講習会(AR等)を実施したことにより、市民の意識啓発につながった。	引き続き、実践的な訓練を取り入れた防災訓練、講習会等の実施による啓発を推進していく。
	60202010		4,608,576	1	防災局 防災対策課			
	防災意識啓発事業		13,950,104	2	三竹 雅雄			
			<b>16,216,521</b>	3	極めて高い			
			3,908,324	4	高い			
		12,308,197	5	普通			改善の効果	極めて高い
26	防災・減災体制の充実	市の総合的な防災活動を効果的に推進するため、地域防災計画や国民保護計画等の見直しを図る。 特に津波対策については、情報伝達・避難対策・災害復旧対策等に、より効果的な対策が図られるよう総合的な推進を図るとともに、国・県所管施設の整備については積極的に促進する。	<b>31,161,566</b>	事務事業評価		南海トラフ地震等の大規模自然災害に対する災害対策の推進が必要であり、特に南海トラフ地震については、「何としても命を守る」ことが最優先課題となっている。	地域防災計画・業務継続計画の修正、国土強靱化地域計画・津波防災地域づくり推進計画及び各施策における進捗管理を実施。	地震・津波災害、風水害等の大規模災害に対し、的確な状況把握と迅速な行動、初動から復旧・復興に関する一連の災害対策を的確に推進していく。 また、業務継続計画等の既存計画の見直しや、受援計画を策定し、それらに基づいた実践的な訓練を通して、非常時優先業務の個別マニュアルの作成・促進を図る。
	60202030		3,941,163	1	防災局 防災対策課			
	災害対策事業		27,220,403	2	三竹 雅雄			
			<b>32,409,230</b>	3	極めて高い			
			4,015,041	4	極めて高い			
		28,394,189	5	高い			改善の効果	高い
27	防災・減災体制の充実	台風、集中豪雨等による水害や土砂崩れに対応するため、防災用備蓄土のう及び防災資器材を整備し被害の軽減を図る。	<b>2,133,961</b>	事務事業評価		風水害等の災害時に備え、必要とされる資器材の確保を行うほか、移送手段を考慮する必要がある。	老朽化した防災備蓄土のうを更新し、必要数を確保するとともに、パレットに効率的に積載し、災害時に迅速に搬送できるようにしている。	豪雨や台風等の災害に対応するため、必要とされる資器材の整備や備蓄資器材の確保を行う。
	60202050		1,798,086	1	消防本部 消防課			
	災害対策事業(消防)		335,875	2	浪崎 智彰			
			<b>2,680,775</b>	3	高い			
			1,774,758	4	高い			
		906,017	5	高い			改善の効果	高い
28	防災・減災体制の充実	地震・津波・風水害等の災害情報を迅速・確実に収集するため、防災情報システムの整備を図る。	<b>3,086,146</b>	事務事業評価		防災カメラを含めた防災情報表示システムの老朽化対策として、防災センター及び防災サーバ室の設備の更新が必要である。	市役所防災センターの防災表示システム機器の改修を行った。	防災カメラや情報表示システムの老朽化対策として、計画的に設備の更新を行う。
	60203020		2,343,600	1	防災局 防災対策課			
	防災情報通信施設設備等整備事業		742,546	2	三竹 雅雄			
			<b>8,889,513</b>	3	高い			
			8,316,000	4	高い			
		573,513	5	普通			改善の効果	高い

No	施策名	事務事業の目的	H29決算額(円)	事務事業評価					事務事業の現状・課題	平成30年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	令和元年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)				
	事務事業コード		内 直接事業費	1	担当部課名	内 人件費	2	評価責任者氏名				H30決算額(円)	3	妥当性評価	内 直接事業費
29	防災・減災体制の充実 60203030	洪水、高潮又は津波による水害等の災害発生の防止に努め、応急対策を行うために必要な資材の整備を図る。	<b>3,061,998</b>	事務事業評価					災害時の被害軽減及び迅速な対応ができるよう資機材の充実と適正な維持管理が必要である。	浸水等の被害軽減を図るために排水ポンプの操作訓練を実施し、災害時に迅速な対応ができるよう努めた。また、水防資機材の搬入出がスムーズに対応できるよう田原市水防倉庫の扉の修繕を行った。	各 地 で 発 生 し て い る 豪 雨 等 大 規 模 な 水 害 に 備 え る た め、さらなる資機材の充実を図るとともに資機材の使用等方法の訓練を実施することにより、災害現場での迅速な対応及び被害の軽減に繋げる。				
	437,493		1	建設部 維持管理課											
	2,624,505		2	伊藤 敏和											
	<b>3,557,134</b>		3	極めて高い											
	607,571		4	高い											
2,949,563	5	普通	改善の効果	高い											
30	防災・減災体制の充実 60203040	災害発生時における災害応急活動・災害復旧活動等を迅速に実施するため、非常用食糧等の備蓄、市防災倉庫等の適切な維持管理を図る。	<b>13,128,874</b>	事務事業評価					避難所を運営する上で必要な簡易トイレや間仕切り等の備蓄数量を増やしていくにあたり、保管場所の確保が課題となっている。	防災倉庫の管理、備蓄品の計画的な更新を実施することができた。自主防災会及び各家庭での備蓄品の備えについて啓発を実施。	水・食料の備蓄計画について、避難所への備蓄に伴う見直しを行うとともに、防災倉庫の増設の検討や自主防災会・企業・家庭内備蓄等の促進を図る。				
	10,299,622		1	防災局 防災対策課											
	2,829,252		2	三竹 雅雄											
	<b>11,618,998</b>		3	極めて高い											
	10,397,106		4	高い											
1,221,892	5	高い	改善の効果	高い											
31	防災・減災体制の充実 60203050	災害発生時に避難所や医療救護所等において活用する設備や避難誘導灯、防災広場、防災井戸、飲料水兼用耐震性貯水槽等の防災設備の適切な管理運用を図る。	<b>15,889,034</b>	事務事業評価					8か所の医療救護所の開設を予定しているが、被害想定による開設場所の見直し、発災時の医療救護体制の確保が課題。	現有物品(EM-5)の適切な管理と、災害時の医療救護体制の検討を行った。飲料水兼用耐震性貯水槽の点検10か所実施した。	引き続き、医療救護所の見直しと医療救護体制の検討を行う。また、耐震性貯水槽の適切な維持管理を行う。				
	15,519,056		1	防災局 防災対策課											
	369,978		2	三竹 雅雄											
	<b>3,625,791</b>		3	高い											
	3,292,811		4	高い											
332,980	5	普通	改善の効果	普通											
32	防災・減災体制の充実 60203060	地震・津波・風水害等の災害情報や交通安全・防犯情報、その他市政全般に関する情報を、市民に対し迅速かつ的確に伝達するため、防災行政無線を始め各種防災情報通信機器の適切な管理運用を図る。	<b>37,871,529</b>	事務事業評価					防災行政無線を始め、各種防災情報通信機器の維持管理を行っているが、移動系防災行政無線等の機器の老朽化が激しく、単純な修繕等では機器が修理できなくなってきている。また、市民に販売した防災ラジオの故障が多くなってきているため、市民からの再販依頼が多い。	機器の保守点検の実施、全国瞬時警報システム機器更新工事、子局スピーカー・ソーラーバッテリー取替工事等を実施し、可能な限り性能を保つようにしている。	令和4年11月末から施行されるスプリアス規制により使用が出来なくなるデジタル・アナログ移動系無線機の整備・更新計画を策定し、確実な情報収集・発信体制を構築する。				
	31,855,108		1	防災局 防災対策課											
	6,016,421		2	三竹 雅雄											
	<b>42,750,046</b>		3	極めて高い											
	34,603,861		4	極めて高い											
8,146,185	5	普通	改善の効果	高い											
33	防災・減災体制の充実 60203070	本市を襲う南海トラフ地震など巨大地震・津波から市民の命を守るため、津波避難困難地域における住民等避難対策として、一時避難場所等の整備を行う。	<b>527,982,963</b>	事務事業評価					大規模自然災害に備え、津波避難困難地域の住民等非難対策として、一時避難場所(津波避難施設)、避難看板、避難標示、避難路、避難誘導灯等を整備。未整備となっている小中山地区における一時避難場所の整備が急務となっている。	社会資本整備総合交付金を活用し、堀切地区津波避難マウンドを整備した。小中山地区津波避難施設の整備に向けて、地域協議を行い整備概要を決定(地区内4か所)した。併せて、地質調査・基本設計を実施した。	小中山地区津波避難施設の整備に向け、避難経路の検討や整備内容の決定など地域協議及び国県との調整を行い、早期整備に努める。				
	511,028,740		1	防災局 防災対策課											
	16,954,223		2	三竹 雅雄											
	<b>108,556,842</b>		3	極めて高い											
	97,813,388		4	極めて高い											
10,743,454	5	普通	改善の効果	高い											
34	防災・減災体制の充実 60204020	田原市耐震化促進計画に沿い、民間住宅等建築物の耐震化を推進することにより都市の防災性を高め、震災から市民の生命と財産を守る。	<b>52,806,084</b>	事務事業評価					耐震診断の戸別訪問等を行っているが、特に費用面からも高齢者世帯の耐震改修が進んでいない。設計士、工務店等を対象に安価な工法の勉強会を開催し、耐震改修に関する技術の向上を図っている。今後はこの技術を改修工事に結びつける必要がある。	例年開催の耐震診断ローラー作戦や小学校への耐震出前講座のほか、設計士、工務店を対象に安価な工法勉強会の開催、衣笠校区で防災講演会を開催した。耐震診断137件、改修工事22件、簡易耐震2件、解体工事10件、ブロック塀改修38件に補助金交付を行った。	診断ローラー作戦、無料相談会、出前講座のほか、ダイレクトメールでの啓発活動を行う。耐震化率向上のため、大学教授や愛知建築地震災害軽減システム研究協議会との連携により、地域ぐるみの防災街づくり講演会や建築士等との設計・施工勉強会を開催するなど一層の耐震化啓発を行う。				
	29,701,230		1	都市整備部 建築課											
	23,104,854		2	稲垣 守泰											
	<b>65,119,781</b>		3	極めて高い											
	46,433,304		4	高い											
18,686,477	5	高い	改善の効果	高い											